

科目名	海洋生化学演習（副題：臨海宿泊演習）			授業形態	開講期間	5月20日～5月22日		
	英文科目名	Marine Biochemistry		①対面授業 ○ ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信 ー	開講時間	集中講義		
受講定員等	担当教員	鈴木 信雄, 関口 俊男, 木谷 洋一郎			開講場所	金沢大学 環日本海域環境研究センター 臨海実験施設（石川県鳳珠郡能登町小木）		
	単位数 2単位 定員数 16名（学内12名） 特別聴講学生等定員 科目等履修生定員 シティカレッジ聴講生定員 定員超過時の選考方法等 学内（12名）は抽選、学外は4名以内（1つの大学に付き2名以内、受け付け順）				成績評価の方法	演習の理解度と熱心さ及びレポートで判定する。		
授業料等	特別聴講学生 （大学等に在籍する学生）			科目等履修生 （社会人で単位を必要とする者）				シティカレッジ聴講生 （社会人で単位を必要としない者）
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認			
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用
			教員の指示に従う	9,800円	28,200円	29,600円	教員の指示に従う	
科目の内容	タンパク質と遺伝子レベルの両面から一連の実験を行うには、時間を要する。そこで、臨海実験施設に宿泊し、一連の生化学実験を行う。実習では、食品をテーマにして、海藻を用いた薄層クロマトグラフィー、食品タンパク質の電気泳動、魚類あるいは海産動物からのDNAの抽出及びPCR法による遺伝子の増幅を行う。さらに実験の待ち時間等に、実験の応用例として教員の研究を紹介し、実験の面白さも体感させる。						その他特記事項	
							5月20日は、19時に金沢駅にマイクロバスで迎えに行きます。帰りは、学生は北陸鉄道バスを利用して、金沢に戻ってください。後日、詳細は受講者にお知らせします。バジャマ（ジャージでも可）、洗面用具を用意すること。なお、当施設が作成した健康申請書を提出していただきます。	
授業担当教員紹介		URL		http://rinkai.w3.kanazawa-u.ac.jp/				
ホームページ・メールアドレス等		E-mail		nubuos@staff.kanazawa-u.ac.jp				